

施 策 カ ル テ

1 施策の位置付け

								担当課	農業振興課
総合計画 政策の柱	市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	農林業の付加価値を高める	取組の 基本方向	「農林業の付加価値を高める」ため、担い手の育成や生産基盤の充実などにより、安定した稲作経営を実現するための「安定した水田農業基盤の確立」、農産物の品質を向上するとともにブランド化を推進し、産地間競争に打ち勝つための「農産物の産地力の向上」、魅力や活力ある農村社会を形成するための「農村地域の活性化」、農林業のさまざまな公益的機能を維持・向上するための「環境と調和した農林業の推進」に、重点的に取組みます。	政策目標 (基本施策目標)	生産力や産地力の向上、良好な農村環境の形成など、総合的に農林業の付加価値が高まっています。		

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

施策名	環境と調和した農林業の推進						達成率 (%)	
	施策指標(単位)							
施策目標	環境と調和した農林業を推進し、農林業が持つ多様な公益的機能が維持・向上しています。						82.0%	
施策を取巻く環境	地球規模で、環境への感心が高まっている。農林地の適切な利用・管理による公益的機能の向上とともに、減農薬、減化学肥料などによる農林業の生産方式の普及・定着などが求められている。							
市民の 施策満足度	20.7%	達成度 (単年度目標)	達成している (90%以上)	概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)	説明		現状 課題 分析 と 抽出
			必要性 (住民・社会ニーズ)	増加している	横ばい	減少している		
			効率性 (事務事業の進捗)	十分である	不十分な事業が 一部ある	不十分な事業が 複数ある	説明	
			有効性 (政策目標への効果)	十分である	やや不十分である	不十分である	説明	

3 今後の取組方針

取組の 考え方	これまで以上に、環境と調和した農林業を推進するためには、農地の状況に応じた助言などによる耕作放棄地の解消や、間伐や枝打ちの実施などによる森林の適正管理、減農薬・減化学肥料や新技術の導入などによる環境保全型農業の推進、バイオマスの利活用促進による資源循環型社会の実現への取組、さらに、市民に、農薬の使用の必要性や安全性について理解を深める必要があることから、現状の事務事業の改善・拡大や、新たな事務事業の立案などに取組む必要がある。	政策評価 会議意見	環境問題への意識の高まりに応えるとともに、資源循環型社会の実現を目指すため、地域の主体的な耕作放棄地解消に対する支援や、森林の間伐・枝打ちなどによる適正管理の促進などにより農林業の公益的機能を維持し「環境と調和した農林業の推進」を図っているものが、さらに「農林業の付加価値を高める」ため、減農薬・減化学肥料などの環境保全型農業やバイオマスの利活用促進などにより、資源循環型社会に対応した産業への転換を図ること。また、これらの取組内容やその意義について理解促進を図り、市民や事業者を含め全市一丸となって取組を進めていくこと。
------------	---	--------------	---

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H19	H20	H19	H20	優先度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費 (千円)	事業費 (千円)			
1	バイオマスタウン推進事業 担当課 農業振興課	市,市民,農協や森林組合などの地元経済団体,市内企業 など	H20	バイオマスタウン構想の策定数	1	1	-	5,554	A	見直し	バイオマスタウン構想を策定したことから、今後は構想における「資源循環型農業の推進」を実現するための事業に内容を組み替える。
					2	2	171	455	A	継続	森林の持つ公益的機能を発揮させるため、森林所有者への啓発活動を行うとともに、計画的な森林整備を行う。
2	森林整備計画推進事業 担当課 農村整備課	地域森林計画対象民有林(7,777ha)	H20	森林・林業振興協議会の開催回数	1	2	-	494	A	継続	里山を整備するため、事業を継続する。
					2	2	22,411	12,914	A	継続	民有林の整備促進を図りためには、必要であることから、事業を継続する。
3	とちぎの元気な森づくり事業 担当課 農村整備課	地域に親しまれている里山林等	H20	整備管理面積	5.1ha	5.1ha	-	494	A	継続	里山を整備するため、事業を継続する。
					5.1ha	5.1ha	35,903	28,247	A	継続	林業経営の安定を図るため、今後も計画的に林道等を整備する。
4	民有林整備事業補助金 担当課 農村整備課	地域森林整備計画対象民有林の森林所有者	H20	森林整備面積	480箇所	270ha	22,411	12,914	A	継続	民有林の整備促進を図りためには、必要であることから、事業を継続する。
					607箇所	270ha	35,903	28,247	A	継続	林業経営の安定を図るため、今後も計画的に林道等を整備する。
5	林道整備事業単独 担当課 農村整備課	市内林道・作業道	H20	利用区域の森林整備面積	25ha	30ha	35,903	28,247	A	継続	林業経営の安定を図るため、今後も計画的に林道等を整備する。
					25ha	30ha	0	2,728	A	継続	地域における農地・水・環境の良好な保全と質的向上のため、今後も地域が協働で環境に配慮した先進的な営農活動に取組んでいく必要があり、支援・推進の手段について継続して検討していく。
6	農地・水・環境保全向上対策(営農活動支援) 担当課 農業振興課	環境負荷低減,かつ先進営農に取組んだ組織	H20	補助対象組織数	4組織	4組織	0	2,728	A	継続	地域における農地・水・環境の良好な保全と質的向上のため、今後も地域が協働で環境に配慮した先進的な営農活動に取組んでいく必要があり、支援・推進の手段について継続して検討していく。
					4組織	4組織	1,879	2,783	B	継続	地球温暖化防止のために、農業者に環境保全型農業を実践してもらう必要があり、CO2を削減する機械・設備や、農薬・化学肥料の施用と同等の効果を持つ機械等の導入を今後も継続する。
7	環境保全型農業生産施設等整備事業補助金 担当課 農業振興課	宇都宮農業協同組合,農業生産法人,農事組合法人,その他農業者で組織する団体	H20	防霜ファン新設による受益面積	1.0ha	2.0ha	1,879	2,783	B	継続	地球温暖化防止のために、農業者に環境保全型農業を実践してもらう必要があり、CO2を削減する機械・設備や、農薬・化学肥料の施用と同等の効果を持つ機械等の導入を今後も継続する。
					2.29ha	2.31ha	3,570	5,284	B	継続	森林資源の確保のために、事業を継続するが、併せて経費の削減を検討する。
8	造林費単独 担当課 農村整備課	市有林等の森林資源	H20	整備面積	8.15ha	8.35ha	3,570	5,284	B	継続	森林資源の確保のために、事業を継続するが、併せて経費の削減を検討する。
					8.06ha	8.35ha	24,053	23,806	B	継続	林業経営の安定を図るため、今後も計画的に林道等を整備する。
9	林道整備事業補助金 担当課 農村整備課	宇都宮市森林組合	H20	林道等舗装整備延長	1,080m	1,640m	24,053	23,806	B	継続	林業経営の安定を図るため、今後も計画的に林道等を整備する。
					1,185m	1,490m	10,184ha	10,164ha	3,203	9,098	B
10	農業振興地域整備計画の適正管理 担当課 農業振興課	農振農用地区域内の農用地を所有または利用する者	H20	保全すべき農用地面積	10,184ha	10,164ha	3,203	9,098	B	継続	農業従事者の減少や高齢化,兼業化が進展する中で、今後の優良農地確保・保全のために、農業振興地域整備計画を改定し、農振農用地区域内の農地を厳格に管理していく。
					10,293ha	10,227ha	10,293ha	10,227ha	3,203	9,098	B

様式 2

11	遊休農地の活用促進事業		遊休農地の所有者及び遊休農地を耕作する耕作者	H 2 0	耕作放棄地の面積	—	9 3 ha	—	0	B	継続	農業従事者の減少や高齢化，兼業化に伴い，耕作放棄地や不作付け地などの遊休農地が増加しているため，農業基盤である優良農地確保と環境保全のため，遊休農地の活用を検討していく。
	担当課	農業振興課				—	9 3 ha					
12	森林ボランティア育成事業		宇都宮市森林ボランティア会員		会員登録者集	260人	260人	256	623	B	継続	健全な森づくりのため，引き続きボランティアと協働で事業を展開する。また，活動回数を増やし，ボランティア団体の意識を高め，登録者数と活動者数を増やすとともに，組織化に向けた指導をする。
	担当課	農村整備課				247人	232人					
13	林野保護対策事業		森林公園周辺登山者や一般市民		キャンペーン開催の日数	15日	15日	354	216	B	継続	人為的な要因による林野火災防止のため，キャンペーン回数を増やすなど啓発活動を強化する。
	担当課	農村整備課				18日	15日					
14	森林公園整備費（単独）		森林公園		森林公園施設利用者数	205000人	205000人	777	1,053	B	継続	必要箇所の整備を計画に実施するため，事業を継続する。
	担当課	農村整備課				205883人	202600人					
15	親子森林体験教室事業		市内に住む小・中学生		参加者数	36人	40人	41	112	C	継続	木や自然に関心を持ってもらえるような事業内容とともに，参加者を増やすための手法を検討する。
	担当課	農村整備課				36人	68人					
16	鳥獣被害対策事業補助金		イノシシ捕獲事業に取り組む個人や団体	H 2 0	許可申請者数	—	42	—	42	C	継続	事業推進に向けたPRを強化するとともに，事業実施者の掘り起こしと被害対策等の取り組みを促す。
	担当課	農村整備課				—	42					
17	鳥獣被害対策事業報奨金		捕獲免許を受けた従事者	H 2 0	捕獲数	—	121	—	590	C	継続	捕獲実績を上げていくため，事業のPRを実施し，捕獲者の意欲向上を促す。
	担当課	農村整備課				—	121					
18	環境保全型農業生産振興対策事業補助金		宇都宮農業協同組合，農業生産法人，農事組合法人，その他農業者の組織する団体		廃ビニール事業による適正処理量	180t	245 t	3,753	3,339	C	見直し	農業者のニーズをとらえた事業を展開していることから，今後も事業を継続するとともに，農薬や化学肥料の使用に代わる代替技術の導入促進などを検討する。
	担当課	農業振興課				207 t	215 t					
施 策 事 業 費 合 計								92,618	93,999			